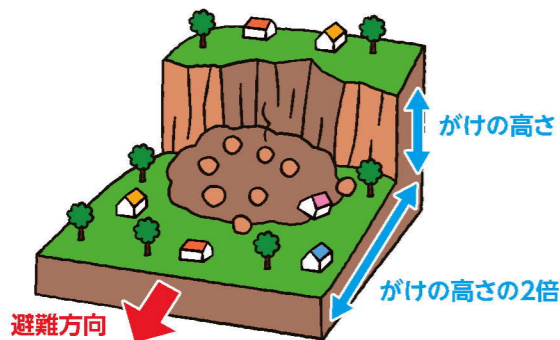


避難のポイント

■ がけ崩れのおそれがある場合

一般的に、がけ崩れの土砂は、地面が平らなところはがけの高さの2倍の距離までくるといわれています。避難する場合は、がけからできるだけ遠くに逃げてください。



※荒尾市内で過去に人的被害が発生しております府本地区においては、土砂災害警戒区域等に関する避難方向を参考として表示しております(②マップ、①マップ)。

■ 屋外に避難する場合

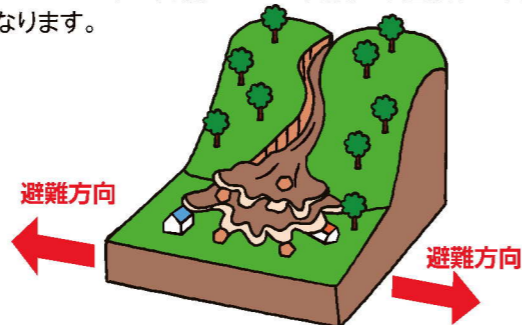
避難の際には、他の土砂災害の危険があるところとはできるだけ避けましょう。

■ 他の危険区域を通らない

避難する際は、土砂災害警戒区域等(イエローゾーン・レッドゾーン)をなるべく通らないようにしましょう。ハザードマップで区域を確認しましょう。

■ 土石流のおそれがある場合

渓流沿いの低い土地から離れてください。土石流のスピードはとても速いので、土石流を見たら、流れに直角の方向に逃げましょう。また土石流が曲がる箇所では、かなり高い位置まで土石流がかけ上がるので、曲がりの外側のほうが内側より危険性が高くなります。



■ やむをえず屋外に避難できない場合

屋外に出ることがかえって危険な場合は、2階以上の斜面から離れた部屋で安全を確保してください。

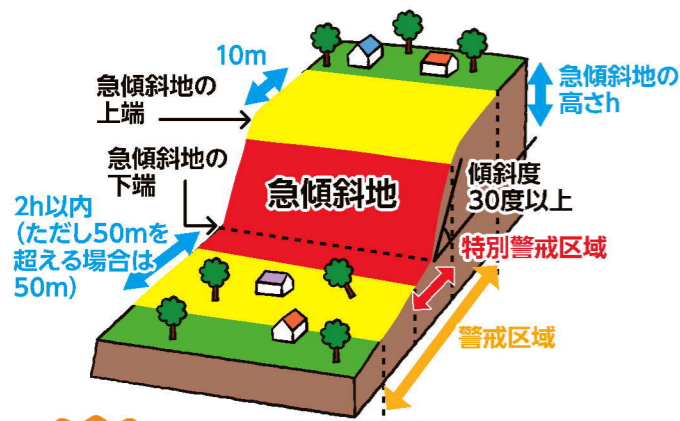
■ 雨がやんだ後も注意

これまで降った雨が土の中に残っています。雨がやんでも大雨警報が発表されている間は、土砂災害が発生するおそれがあるので警戒しましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

■ 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震などでゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。



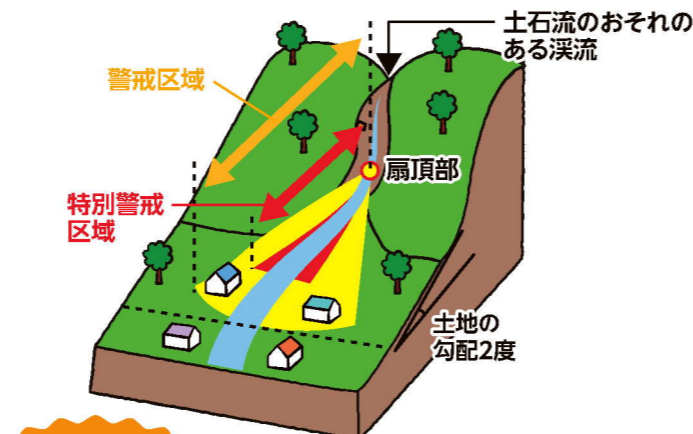
前兆現象

- がけに割れ目ができる
- がけから水が噴出する
- がけから小石がバラバラ落ちてくる



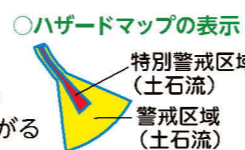
■ 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって、一気に下流へと押し流される現象です。



前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる



土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域

熊本県では、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

荒尾市内におけるイエローゾーンの箇所数
 イエローゾーン 【242箇所】

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

荒尾市内におけるレッドゾーンの箇所数
 レッドゾーン 【224箇所】

熊本県が令和2年12月末時点で告示及び公表されている「急傾斜地の崩壊」「土石流」の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を示しています。

土砂災害警戒区域・特別警戒区域は、工事等によって変更となる場合があります。

※指定区域の詳細については、熊本県ホームページまたは荒尾市役所(防災安全課)でご確認ください。

土砂災害警戒情報【警戒レベル4相当情報】

大雨により、土砂災害発生の危険性が高まった場合に、熊本県と熊本地方気象台が共同で発表します。この情報が発表された時は、「いつ土砂災害が起きてもおかしくない」という非常に危険な状態です。また、土砂災害警戒情報が発表されていなくても、地形や地質の条件により土砂災害が発生するおそれがあるため、その他の防災情報や土砂災害の前兆現象などにも十分注意しながら、避難活動を行ってください。



土砂災害警戒情報が発表されたら...

- 土砂災害警戒区域等の区域外へ避難してください。
- 荒尾市が発表する避難情報に注意しましょう。
- 周囲の様子をよく観察し、前兆現象を見逃さないようにしましょう。

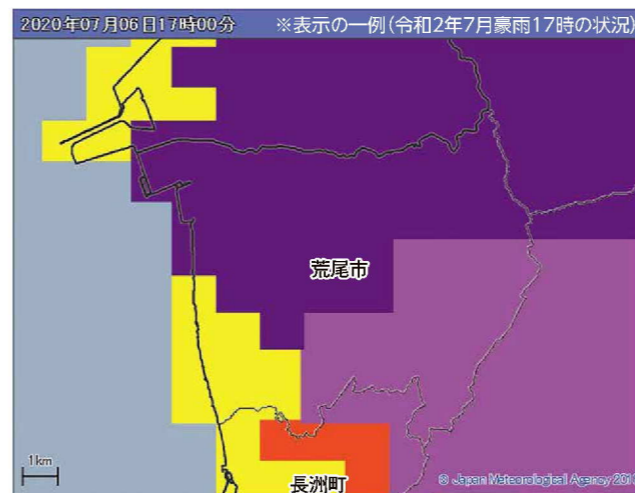


大雨警報(土砂災害)の危険度分布(土砂災害警戒判定メッシュ情報)

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/>



土砂災害の危険度の高まっている地域を1km四方(メッシュ)の領域ごとに5段階で色分け表示しています。避難にかかる時間等を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値(10分ごとに更新)を用いており、大雨警報(土砂災害)、土砂災害警戒情報、記録的短時間大雨情報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



色が持つ意味	表示色の説明
極めて危険	過去の重大な土砂災害発生時に匹敵する状況。命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生していてもおかしくない極めて危険な状況。この状況になる前に避難を完了しておく。
非常に危険	命に危険が及ぶ土砂災害がいつ発生してもおかしくない非常に危険な状況。遅くともこの時点で速やかに安全な場所への避難を開始する。
警戒(警報級)	避難の準備を整え、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに避難を開始する。
注意(注意報級)	ハザードマップ等で避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。